

2020年7月7日



キリスト教センター 通信 Vol.7



激励メッセージリレー

タイトル

『目からウロコ!』

河村 博之 チャプレン

皆さんは、これまでの思い描いていた生き方が変わった! というような経験をしたことがありますか。今回のタイトル、「目からウロコ!」は、新約聖書中に出てくるパウロ(サウロ)という人が、これまでキリスト教の迫害に賛成し、教会に押し入って、男女を問わず縛り上げ牢に送っていた生活から、ある日突然、幻(迫害されるイエス)に出会い、生き方が180度変わり、今度は、イエスをキリスト(救い主)だと公言したという不思議な出来事から来ています。

コロナ禍の中で、直接罹患する場合がありますが、様々な規制によって、これまでの生活が変えられてしまったこともあるでしょう。不自由に感じますか? それとも、今までとは違った生活様式を見つけられましたか? もし、1ミリでも違った感覚・習慣を見出すことができれば、それは今後、皆さんが生きていく上での、素晴らしい財産になると思います。

チャプレンは、チャペルで昼の祈りをスタッフの方々と、行っています。今まで通りの礼拝を行うには、まだ少し時間がかかりそうですが、学生・教職員の皆様の安定した生活、活動ができますように、神様にお祈りしています。チャプレン(大学付牧師)の第一の役割は、これだよな! と今回のことで改めて気づかされました。まさに、「目からウロコ!」です。

キリスト教 一口メモ

「目から^{うろこ}鱗が落ちる」

この言葉、知らない間によく使われています。聖書には、イエスをキリスト(救い主)だと信じていた人々を迫害してきたパウロ(サウロ)が、旅の途中、突然目が見えなくなり、幻の中で回心したときに起こった出来事から来ています(新約聖書 使徒言行録 9:1~19)。突然の出来事に、当の本人だけでなく、周りの人々も、その変貌ぶりに驚かされました。今までとは180度、考え方が変わったのですから。

ところで、今回の新型コロナウイルスの影響は、様々な変化をこれまでの生活様式にもたらしました。皆さんにとって今回の出来事が、「目からウロコ!」になるには、まだまだ時間がかかりそうですね。

新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り

どうか、皆さんもお時間があるときにお祈りください

神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。

どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまの、み心になつた正しい行動が心ができるようになります。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。

このお祈りを、主イエスさまの、み名によっておさげいたします。 アーメン

病に苦しむ人のための祈り

慈悲の父、慰めのもとである神よ、現在、新型コロナウイルスに感染し、痛みや苦しみ、不安や悲しみの中にある人のために献げる祈りをお聞きください。

どうか病で困難や不安の中にある人を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病を癒してください。

また、医師と看護する者とを助け導き、その働きを支えてください。

そして、何もできずに不安と悲しみの中で苦しむご家族やご友人、また、私たちの心も神さま、あなたが愛によってお救いください。

主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離れて暮らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。

そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々を過ごすことができますように、どうかあなたがお支えください。

また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息に向かうことができますように。

この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。 アーメン

神戸国際大学
キリスト教センターの
HPリンクはこちらまで

